

こんにちは、SSH部です。SSH部は富田林中学校・高等学校のSSHの取組みを企画・実行する委員会です。
富田林中学校・高等学校は2017年度に文部科学省よりSSH第I期の指定を受け、2023年度から5年間SSH第II期に採択され、現在はSSH第II期3年めです！！このSSHNEWSはSSHの取組みの紹介や、大学の研究室訪問などの**研修の案内**を掲載します。今年度第1号となる今回はSSHとは何か、そして具体的な活動の紹介を掲載します。

Q. そもそもSSHって何？

A. Super Science High schools の略称です！

SSH指定校は、科学技術系人材育成のため、各学校で作成した計画に基づき、①**独自のカリキュラムによる授業**や、②**大学・研究機関などとの連携**、③**地域の特色を生かした課題研究**など様々な取組みを積極的に行う。

Q. 実際SSHの活動って具体的にはどんなことをしているの？

① 独自のカリキュラムによる授業

⇒高校では教科として**探究**を設定して、**1年次はグローバル探究Ⅰ、2年次はグローバル探究Ⅱ、3年次はグローバル探究Ⅲ**を行っています。

探究とは…自己の在り方・生き方を考えながらよりよく課題を発見し解決していくこと

探究の時間は個人または班で課題（テーマ）を設定し、その課題（テーマ）を解決するためにはどうしたらよいかを自分たち自身で考え、検証する時間です。

② 大学・研究機関などとの連携

- ・訪問研修：大阪大谷大学調剤体験・理化学研究所計算科学研究センター・北海道でのサイエンスツアー
- ・大学：大阪公立大学理学部や大阪大谷大学等の研究室訪問・探究活動について指導助言
- ・講演会：大阪大学工学部教授 紀ノ岡教授「iPS細胞の培養についての取組」
関西大学化学生命工学部 竹下教授「未来を切り拓く水素エネルギーシステム」
京都大学フィールド科学教育研究センター 山守助教「海洋生物の『共生系』の世界を探検」
大阪大学基礎工学部 中西教授「CO₂を資源に変える技術」

③ 地域の特色を生かした課題研究

⇒大学・企業・行政機関など多数の団体を招き、「地域の人との交流」や「パネルディスカッション」「科学実験教室」を実施する『**とんこう地域フォーラム**』を毎年3月に開催しています。他にも**海外交流**や**大阪サイエンスステイ**をはじめとする様々な発表会に参加し、優秀な結果をおさめています！！

